

整備基準適合表（公共交通機関の施設）

年 月 日作成

施設の名称		主要用途	
施設の所在地			
記入者の氏名		電話番号	

（注）太枠の中を記入してください

整備項目	整備基準	設計内容	適合状況	
1 改札口 (1以上)	(1) 幅は内法 80 センチメートル以上	内法幅 センチメートル	適・否	
	(2) 車いす使用者が通過する際に支障となる段を設けない	段差の有無 最大段差 有・無 センチメートル	適・否	
2 通路等	(1) 粗面又は滑りにくい材料の表面仕上げ	仕上材	適・否	
	(2) 段を設ける場合は下記の構造 イ 手すりの設置 ロ 回り段を設けない ハ 粗面又は滑りにくい材料の表面仕上げ ニ 識別しやすい色とし、かつ、つまずきにくい構造 ホ 上端に近接する通路等及び踊場に注意喚起用床材を敷設	段の有無 手すりの有無 回り段の有無 仕上材 色の区分 有・無 有・無 有・無 (平面図に敷設位置を記入)	適・否	
	(3) 改札口から乗降場までの通路に高低差がある場合は、下記構造の傾斜路及び踊場又は車いす使用者用特殊構造昇降機を設置 イ 幅は内法 120 センチメートル以上(段併設の場合は 90 センチメートル以上) ロ 勾配は 12 分の 1 以下(傾斜路の高さ 16 センチメートル以下は 8 分の 1) ハ 高さ 75 センチメートル以内ごとに、踏幅 150 センチメートル以上の踊場を設置 ニ 手すりの設置 ホ 粗面又は滑りにくい材料の表面仕上げ ヘ 傾斜路の色は、踊場、傾斜路に接する通路等と識別しやすいもの ト 傾斜路上端に近接する通路等及び踊場に注意喚起用床材を敷設	高低差の有無 段差解消の種類 内法幅 勾配 高さ 手すりの有無 仕上材 色の区分 有・無 (平面図に敷設位置を記入)	有・無 センチメートルごと 有・無 有・無	適・否
	(4) 改札口から各乗降場に至る道路等のうち 1 以上に誘導用床材を敷設	(平面図に敷設位置を記入)		適・否
3 昇降機	(1) 改札口から乗降場に至る経路に 5 メートル以上の高低差がある、1 日当たりの平均乗降客 5,000 人以上の停車場等については、下記構造のエレベーターを設置 イ かごの床面積は 1.83 平方メートル以上 ロ かごの奥行きは内法 135 センチメートル以上 ハ かごの平面形状は車いすの転回に支障のないもの ニ かご内に停止予定階及び現在位置を表示する装置を設置 ホ かご内に到着階及び戸の閉鎖を音声で知らせる装置を設置 ヘ かご及び昇降路の出入口の幅は内法 80 センチメートル以上 ト かご内及び乗降ロビーには車いす使用者が利用しやすい位置に制御装置を設置 チ かご内及び乗降ロビーの制御装置（トに規定する制御装置は除く）は視覚障害者が円滑に操作できる構造	エレベーター かごの床面積 奥行き寸法 装置の有無 装置の有無 内法幅 制御装置の有無 台 平方メートル センチメートル 有・無 有・無 センチメートル 有・無	適・否	

整備項目	整備基準	設計内容	適合状況
	リ 乗降ロビーの幅及び奥行き内法 150 センチメートル以上 又 乗降ロビーに到着するかごの昇降方向を音声で知らせる装置又はかご内に戸が開いたとき昇降方向を音声で知らせる装置を設置	幅 奥行き 装置の有無	センチメートル センチメートル 有・無
4 乗降場	(1) 粗面又は滑りにくい材料の表面仕上げ	仕上材	適・否
	(2) 両端に落下防止柵を設置	(平面図に敷設位置を記入)	適・否
	(3) 縁端に近接する部分に注意喚起用床材を敷設	(平面図に敷設位置を記入)	適・否
5 便所	(1) 下記構造の車いす使用者用便所を 1 以上設置(男女の区別がある場合はそれぞれ 1 以上) イ 十分な床面積を確保し、かつ、腰掛便座、手すり等を適切に配置 ロ 車いす使用者便所の出入口の幅は内法 80 センチメートル以上 ハ 車いす使用者用便所の出入口の戸は、車いす使用者が円滑に開閉し通過できる構造	車いす使用者用便所 内法幅 開閉方式	か所 センチメートル
	(2) 男子用小便器を設ける場合は、手すり付きの床置き式小便器を 1 以上設置	設置数	か所
6 案内表示及び非常警報装置	(1) 案内表示を設置する場合は、高齢者や障害者が円滑に利用できるよう設置場所及び表示方法などを配慮	案内表示の有無	有・無
	(2) 非常警報装置を設置する場合は、光、音その他の方法により、視覚障害者及び聴覚障害者に非常事態を知らせることができるものを設置	非常警報装置の有無	有・無